

Nature-based Tourism in Japan

PEOPLE, WETLANDS, WILDLIFE [PWW]

人と湿地と生きものに出会うインバウンドの旅

国際的に重要な日本のラムサール条約登録湿地はこれからのインバウンド観光の中心です。

ジェームズ・マックギール (シニアコンサルタント) と

中村玲子 (ラムサールアワード受賞) が

日本のラムサール条約登録湿地に
インバウンドのみなさんをご案内します。

「People, Wetlands, Wildlife (人と湿地と生きものたち)」

<https://pwwj.org/> は、日本の豊かな自然と生物多様性、
野生動物の魅力を紹介する英語版のウェブサイトです。

北海道から九州まで、日本の主なラムサール条約登録湿地を訪れ、
すばらしい自然、人々と生きものの共生を、動画と写真、
そしてエッセイで紹介します。

世界のどこかでこのウェブサイトをご覧になった方が、
インバウンド (訪日外国人・訪日旅行者) として
日本の自然を訪ねてくれることを願っています。

<https://pwwj.org/> **pwwj** 



Instagram
people_wetlands_wildlife



YouTube
People, Wetlands, Wildlife



Facebook
People Wetlands Wildlife



ジェームズ・マックギール

米国オクラホマ州出身。イェール大で人類学、コロンビア大で財務・
会計の MBA 取得。1987年 JET 第一期生の英語教員として来日。
現在インテムコンサルティングのシニアコンサルタント。

中村玲子

自然・環境ライター。日本とアジアの湿地保全に取り組む NGO ラムサ
ールセンター設立に参加し 1990～2019 年事務局長。著書に「湿地
への招待」「釧路湿原」他。2005 年ラムサール条約湿地保全賞受賞。

製作: インテムコンサルティング株式会社

東京都新宿区西新宿 7-5-3 ☎03-5389-7055 URL: <http://intemjapan.co.jp>

協力: ラムサールセンター、日本国際湿地保全連合、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

※このウェブサイトは環境省の補助金を受けて製作しました。

問合せ: pwwj-info@intemjapan.co.jp (担当: インテム 尾崎友紀)

PEOPLE, WETLANDS, WILDLIFE 人と湿地と生きものに出会うインバウンドの旅 — 日本のラムサール条約登録湿地に案内します



A Theater Company with 3 Players: Ariake Sea Tidal Flats

3人の役者がそろった有明海干潟

⑪ 東よか干潟 (佐賀)

The Main Actor: Higashiyoka-higata

メインアクターは市民の誇りの東よか干潟。ハマシギが群舞し、クロツラヘラサギがユーモラスに行進する。

⑫ 荒尾干潟 (熊本)

The Supporting Actor: Arao-higata

助演アクターは荒尾干潟。ゴリラのかたちの雲仙岳と夕景が美しい砂の干潟は、家族みんなの散歩コース。

⑬ 肥前鹿島干潟 (佐賀)

The Character Actor: Hizzen Kashima-higata

個性派アクターは肥前鹿島干潟。ムツゴロウが泥をかきわけ、カニがラインダンスを踊り、人々はガタリンピックで泥だらけ。



① 釧路湿原・冬 (北海道)

Unconquered: Kushiro-shitsugen

開拓を拒んだ日本最大の湿原

「広い、何もない…」荒涼とした厳寒の湿原を前につぶやいたジェームズ。雪の上で舞うタンチョウやオオワシ、オジロワシ、エゾシカたちに出会った。



釧路湿原・夏 (北海道)

A Symphony in a Minor Key: Kushiro-shitsugen

湿原の美しさは短調のシンフォニー

ハンノキ、ヨシ、スゲ、ミズゴケ… 諧調の異なる緑が織りなす夏の湿原。木道を行くジェームズは耳を傾けた。

④ 風蓮湖・春国岱 (北海道)

Sakkaku and Close Encounters: Furen-ko

フーレンコで「錯覚」、 シュンクニタイは「木道が最高」

「ここは海か、湖か？」首をかしげたジェームズは、胴長姿で風蓮湖の中へ。春国岱の木道の真下に寝そべるエゾシカにびっくり。



⑥ 瀧沸湖 (北海道)

Station Abashiri and the Quiet Lake: Tofutsu-ko

釧網線の終着駅は流水の駅だった

オホーツク海の流水、そしてオーロラ号での氷の海の航海は、オクラホマ生まれのジェームズには不思議の体験だった。



⑧ 蕪栗沼・周辺水田 (宮城)

The Last Marsh: Kabukuri-numa

北上平野の田んぼに残されたマガンの楽園

夕暮れの沼に十数万羽のマガンがサオになりカギになり集まってくる。その圧巻の雁行にジェームズは息を飲んだ。



⑩ 円山川下流域・周辺水田 (兵庫)

The City that Adopted the Oriental White Stork: Toyooka City

絶滅したコウノトリが再び空を舞う日本海の町

かつてコウノトリと牛と人びとがいっしょに暮っていた川沿いの町、豊岡。絶滅したコウノトリを呼び戻すための努力が実った。



② 厚岸湖・別寒辺牛湿原 (北海道)

Dances with Seagulls on the Akkeshi Bridge: Akkeshi Town

ランドマークの厚岸大橋でジェームズはカモメと踊った

花咲線の電車がスローダウンしてくれる別寒辺牛湿原の撮影スポット。別寒辺牛川のカヌーイングにはオジロワシも登場。



③ 霧多布湿原 (北海道)

The Land of Fog: Kiritappu-shitsugen

霧の湿原はほんとうに「キリがタップリだ!？」

タンチョウが営巣する花の湿原。霧が晴れると現れる。海に突き出た霧多布岬でジェームズを迎えたラッコの親子。



⑤ 野付半島・野付湾 (北海道)

The Ghost Forest: Notsuke-hanto

砂に沈む半島の森、ゴーストフォレスト

地盤沈下で立ち枯れるナラワラ、ドトワラの不思議な光景。ゆうゆうと泳ぐアザラシを横目にアマモの海の野付湾を舟で渡る。



⑦ 志津川湾 (宮城)

The Oyster Aquaculture Revolution: Shizugawa-wan

南三陸の海のカキ養殖は「レボリューション」

大津波からの復興をめざす漁師たちの挑戦、持続可能な養殖のカキ。ジェームズは船の上で舌鼓を打った。



⑨ 尾瀬 (福島・新潟・群馬)

The Eater of Mizubasho: Oze

ミズバショウが動物たちに食べられちゃう

英語名「スカunkのキャベツ」の実はツキノワグマとシカの大好物だった。湿原ばかりか紅葉の森のすばらしさにはジェームズも感動。



⑭ 谷津干潟 (千葉)

⑮ 葛西海浜公園 (東京都)

いまつくってます!



Nature-based Tourism in Japan

PEOPLE, WETLANDS, WILDLIFE [PWW]

国際的に重要な日本のラムサール条約登録湿地は
これからのインバウンド観光の中心です。

人と湿地と生きものに会えるインバウンドの旅

ジェームズ・マックギール (シニアコンサルタント) と中村玲子 (ラムサールアワード受賞) が
日本のラムサール条約登録湿地にインバウンドのみなさんをご案内します。

「People, Wetlands, Wildlife (人と湿地と生きものたち)」<https://pwwj.org/> は、
日本の豊かな自然と生物多様性、野生動物の魅力を紹介する英語版のウェブサイトです。
北海道から九州まで、日本の主なラムサール条約登録湿地を訪れ、
すばらしい自然、人々と生きものの共生を、動画と写真、そしてエッセイで紹介します。
世界のどこかでこのウェブサイトをご覧になった方が、
インバウンド (訪日外国人・訪日旅行者) として日本の自然を訪ねてくれることを願っています。



<https://pwwj.org/>

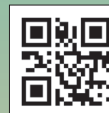
ジェームズ・マックギール

米国オクラホマ州出身。イェール大で人類学、コロンビア大で財務・会計のMBA取得。1987年JET第一期生の英語教員として来日。現在インテムコンサルティングのシニアコンサルタント。

中村玲子

自然・環境ライター。日本とアジアの湿地保全に取り組むNGOラムサールセンター設立に参加し1990～2019年事務局長。著書に「湿地への招待」「釧路湿原」他。2005年ラムサール条約湿地保全賞受賞。

pwwj



Instagram
people_wetlands_wildlife



YouTube
People, Wetlands, Wildlife



Facebook
People Wetlands Wildlife

製作: インテムコンサルティング株式会社 東京都新宿区西新宿7-5-3 ☎03-5389-7055 URL: <http://intemjapan.co.jp>
協力: ラムサールセンター、日本国際湿地保全連合、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議 ※このウェブサイトは環境省の補助金を受けて製作しました。
問合せ: pwwj-info@intemjapan.co.jp (担当: インテム 尾崎友紀)

PEOPLE, WETLANDS, WILDLIFE 人と湿地と生きものに出会うインバウンドの旅 — 日本のラムサール条約登録湿地に案内します



A Theater Company with 3 Players: Ariake Sea Tidal Flats

3人の役者がそろった有明海干潟

⑪ 東よか干潟 (佐賀)

The Main Actor: Higashiyoka-higata

メインアクターは市民の誇りの東よか干潟。ハマシギが群舞し、クロツラヘラサギがユーモラスに行進する。

⑫ 荒尾干潟 (熊本)

The Supporting Actor: Arao-higata

助演アクターは荒尾干潟。ゴリラのかたちの雲仙岳と夕景が美しい砂の干潟は、家族みんなの散歩コース。

⑬ 肥前鹿島干潟 (佐賀)

The Character Actor: Hizen Kashima-higata

個性派アクターは肥前鹿島干潟。ムツゴロウが泥をかきわけ、カニがラインダンスを踊り、人々はガタリンピックで泥だらけ。



① 釧路湿原・冬 (北海道)

Unconquered: Kushiro-shitsugen

開拓を拒んだ日本最大の湿原

「広い、何もない…」荒涼とした厳寒の湿原を前につぶやいたジェームズ。雪の上で舞うタンチョウやオオワシ、オジロワシ、エゾシカたちに出会った。



釧路湿原・夏 (北海道)

A Symphony in a Minor Key: Kushiro-shitsugen

湿原の美しさは短調のシンフォニー

ハンノキ、ヨシ、スゲ、ミズゴケ… 諧調の異なる緑が織りなす夏の湿原。木道を行くジェームズは耳を傾けた。

④ 風蓮湖・春国岱 (北海道)

Sakkaku and Close Encounters: Furen-ko

フーレンコで「錯覚」、 シュンクニタイは「木道が最高」

「ここは海か、湖か？」首をかしげたジェームズは、胴長姿で風蓮湖の中へ。春国岱の木道の真下に寝そべるエゾシカにびっくり。



⑥ 瀧沸湖 (北海道)

Station Abashiri and the Quiet Lake: Tofutsu-ko

釧網線の終着駅は流水の駅だった

オホーツク海の流水、そしてオーロラ号での氷の海の航海は、オクラホマ生まれのジェームズには不思議の体験だった。



⑧ 蕪栗沼・周辺水田 (宮城)

The Last Marsh: Kabukuri-numa

北上平野の田んぼに残されたマガンの楽園

夕暮れの沼に十数万羽のマガンがサオになりカギになり集まってくる。その圧巻の雁行にジェームズは息を飲んだ。



⑩ 円山川下流域・周辺水田 (兵庫)

The City that Adopted the Oriental White Stork: Toyooka City

絶滅したコウノトリが再び空を舞う日本海の町

かつてコウノトリと牛と人びとがいっしょに暮っていた川沿いの町、豊岡。絶滅したコウノトリを呼び戻すための努力が実った。



② 厚岸湖・別寒辺牛湿原 (北海道)

Dances with Seagulls on the Akkeshi Bridge: Akkeshi Town

ランドマークの厚岸大橋でジェームズはカモメと踊った

花咲線の電車がスローダウンしてくれる別寒辺牛湿原の撮影スポット。別寒辺牛川のカヌーイングにはオジロワシも登場。



③ 霧多布湿原 (北海道)

The Land of Fog: Kiritappu-shitsugen

霧の湿原はほんとうに「キリがタップリだ!？」

タンチョウが営巣する花の湿原。霧が晴れると現れる。海に突き出た霧多布岬でジェームズを迎えたラッコの親子。



⑤ 野付半島・野付湾 (北海道)

The Ghost Forest: Notsuke-hanto

砂に沈む半島の森、ゴーストフォレスト

地盤沈下で立ち枯れるナラワラ、ドトワラの不思議な光景。ゆうゆうと泳ぐアザラシを横目にアマモの海の野付湾を舟で渡る。



⑦ 志津川湾 (宮城)

The Oyster Aquaculture Revolution: Shizugawa-wan

南三陸の海のカキ養殖は「レボリューション」

大津波からの復興をめざす漁師たちの挑戦、持続可能な養殖のカキ。ジェームズは船の上で舌鼓を打った。



⑨ 尾瀬 (福島・新潟・群馬)

The Eater of Mizubasho: Oze

ミズバショウが動物たちに食べられちゃう

英語名「スカunkのキャベツ」の実はツキノワグマとシカの大好物だった。湿原ばかりか紅葉の森のすばらしさにはジェームズも感動。



⑭ 谷津干潟 (千葉)

⑮ 葛西海浜公園 (東京都)

いまつくってます!

